

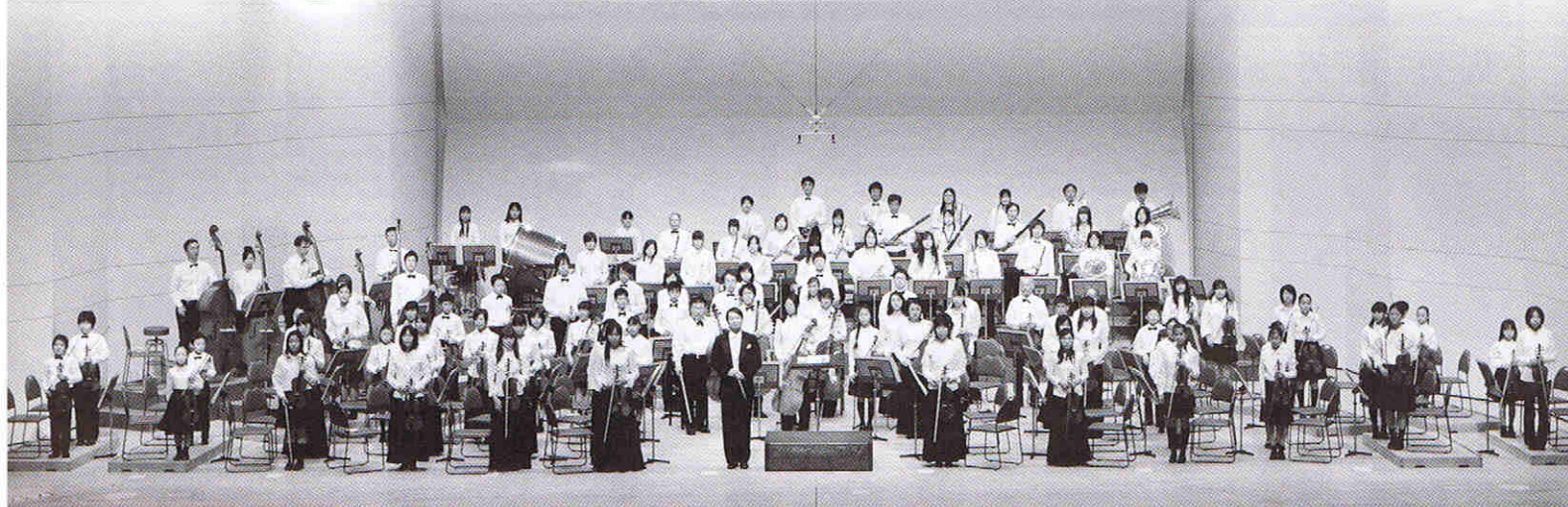
かがわジュニア・ニューフィルハーモニック・オーケストラ

KJO

第9回 定期演奏会

L.v.ベートーヴェン 作曲

交響曲 第9番 ニ短調 op.125「合唱付き」



2010年8月29日(日)

午後2時開演 (午後1時30分開場)

アルファあなぶきホール (香川県民ホール)・大ホール

全席自由 一般/2,000円 学生/500円

発売日
6月6日(日)

- 主催** 香川県
- 協賛** 香川県トヨタ販売会社グループ・トヨタ自動車株式会社
- 協力** 高松交響楽団、香川県吹奏楽連盟
香川第九合唱団、高松マスターズコーラス
(社)日本アマチュアオーケストラ連盟
- 事業実施者** アルファあなぶきホール (香川県民ホール指定管理者穴吹エンタープライズ(株))

プレイガイド	アルファあなぶきホール	087-823-5023	香川県庁生協	087-832-3822
	ヤマハ高松店	087-822-3068	高松市役所生協	087-839-2043
	デュークショップイオン高松店	087-870-5880	オオサカヤ観音寺本店	0875-25-2201
	高松天満屋ギフトサロン	087-812-7704	(営業時間・販売方法は各店舗によって異なります)	

お問い合わせ・ご郵送希望の方は

☎087-823-5023 アルファあなぶきホールまで

電話受付時間:午前9時~午後6時30分(発売初日のみ 午前11時~)

- 車いす席ご希望の方はアルファあなぶきホールまでお問い合わせください。
- 2歳以下のお子様のご入場はご遠慮下さい。また、お子様を膝の上に抱いての鑑賞はできませんので、未就学児でも学生券が必要となります。
- 託児サービス(予約制):グランメール(TEL.087-862-3378)までお問い合わせ下さい。[お申込みは8月24日(火)まで]

トヨタ自動車とトヨタ販売会社グループは、アマチュアオーケストラ活動を応援しています。

トヨタコミュニティコンサートの情報はインターネットでより詳しくご覧いただけます。www.toyota.co.jp/tcc/

指揮

平井 秀明

独唱

佐竹由美(ソプラノ)

永井和子(アルト)

行天祥晃(テノール)

久保和範(バリトン)

合唱

香川第九合唱団

高松マスターズコーラス 他

管弦楽

かがわジュニア・ニューフィルハーモニック・オーケストラ

国立武陵高級中学 管弦楽団

かがやくけん、かがわけん。

香川県

指揮

平井 秀明 *Hideaki Hirai*



Photo ©: www.carpentarturner.co.uk

幼少よりチェロを父平井文一朗に、ピアノと作曲を祖父平井康三郎に師事。米国立音楽大学政治学専攻。イーストマン、ピーボディ両音楽院で指揮法を学ぶ。1997年第6回フラデッツ・クラーク国際指揮者コンクール(チェコ)で第1位。日本国内では既に、新日フィル、東フィルをはじめ、ほとんどの主要オーケストラに度々客演する。オペラ指揮者としても「椿姫」、「蝶々夫人」、「ラ・ボエーム」、「カルメン」、自作「かくや姫」、「小町百年の恋」等を指揮。新国立劇場には小劇場公演「イタリアのモーツァルト」公演でデビュー、引き続き「フィガロの結婚」(大劇場)、「セルセ」(小劇場)を指揮、各方面より絶賛された。自作オペラ「かくや姫」は、キャンペラ(オーストラリア)、ブラハ(チェコ)等、海外でも上演され、いずれも地元メディアで最大級の評価を得る大成功を収めた。

2008年「第23回国民文化祭・いばらき2008」より作曲を委嘱された新作オペラ「小町百年の恋〜筑波山愛ものがたり」を自ら指揮。2009年11月東京公演、引き続き本年3月に開催された水戸公演でも大成功を収め、わが国の若い世代の指揮者、作曲家として、活動が大きな注目を集めている。

♪平井秀明公式ウェブサイト: www.hideaki-hirai.com

独唱

佐竹 由美 *Naomi Satake*

ソプラノ



東京藝術大学及び同大学院博士課程修了。学部を首席で卒業、皇居桜華楽堂にて御前演奏の栄を授かる。ロータリー国際親善奨学生として渡伊。第53回日本音楽コンクール第2位入賞。同時に最高位に贈られる福沢賞受賞。イタリア・ノバ市国際声楽コンクール第2位入賞。ライブツィヒ第8回パッハ国際コンクール第4位入賞。パッハ「マイ愛曲」(ヨハネ受難曲)、ヘンデル「メサイア」、モーツァルト「レクイエム」(ハ短調ミサ)、ハイドゥン「天地創造」等、宗教作品のソリストとしてその確かな技術に支えられた透明感のある美声と洗練された歌唱が最大の魅力で常に高い評価を得ている。オペラにおいても二期会、東京室内歌劇場などで主要キャストとして活躍。近年はテエステイ、ヘンデル、パーセルなどのバロックオペラにも出演、好評を博す。2009年文化庁芸術家在外研修員(ニューヨーク)。よんでん文化振興財団芸術文化奨励賞受賞。国立音楽大学、東京芸術大学非常勤講師。二期会会員。香川県高松市出身・高松第一高等学校卒業。

永井 和子 *Kazuko Nagai*

アルト



国立音楽大学卒業。同大学院オペラ科修了。二期会オペラスタジオ修了。修了時に最優秀賞及び第1回川崎静子賞受賞。文化庁オペラ研修所第4期修了。中山節一、伊藤京子、小松道子の諸氏に師事。第19回国民音コンクール第1位入賞。第1回グローバル東洋子賞受賞。第15回シロ・オペラ賞受賞。第2回村松賞受賞。1987年、ジュゼッペ・ペリニに見出され、サン・トリーホールオープニング記念公演「蝶々夫人」(演奏会形式)のスズキに抜擢され絶賛を得た。これにより海外への場を広く、高い評価を得ている。2003年度、文部科学省在外研究員としてジュネーブにて研鑽を積む。2001年、西伊豆の歌謡「マレー乙女の歌へる」を初演し、大好評を博す。本年6月、新国立劇場オペラ「鹿鳴館」初演の際、華乃役で出演。特に「蝶々夫人」のスズキ役は定評があり、近年もモスクワ公演、韓国テグ国際オペラフェスティバル、上海等の出演に於いて、熱狂的な評価を受けている。現在、東京藝術大学教授、国立音楽大学客員教授、常葉短期大学客員教授、二期会会員。

行天 祥晃 *Yoshiaki Gyouten*

テノール



東京藝術大学音楽学部卒業、同大学院修了。イタリア政府給費、ロータリー財団奨学生として、イタリアのG.ニコリーニ国立音楽院に留学。オペラでは、「椿姫」アルフレード、「ラ・ボエーム」ロドルフォ等に出演。2003年ロシア・エカテリーナ劇場において、サンクト・ペテルブルグ建館300年記念公演「曹長騎心曲」徳兵衛を演じた。また、2005年イタリア・スポレート実験歌劇場と東京室内歌劇場の共同制作、ヴェルディの処女作「オベルト サンゴニファー」に主演。リッカルドを演じ、日伊両国での公演成功に貢献した(日本初演)。メンデルスゾーン「賛歌」(エリシア)、ドヴォルジャーク「オースバート・マイテル」、ヴェルディ「レクイエム」等のソリストとして、東京フィル、東京交響楽団の他、海外オーケストラとの共演など多くの演奏会に出演。また、テレビCM録音「ネスカフェ・カプチャー」を行うなど、幅広い演奏活動を行っている。大分県立芸術文化短期大学准教授、尚美学園大学講師。東京二期会、東京室内歌劇場各会員。香川県観音寺市出身・高松第一高等学校卒業。

久保 和範 *Kazunori Kubo*

バリトン



東京藝術大学、及び同大学院修士課程独唱科修了。文化庁オペラ研修所修了。平成7年度文化庁派遣芸術家在外研修員としてニューヨークに留学。第6回安楽堂日本歌曲コンクール第1位入賞。「コシフアン・トゥッテ」のグリエルモでオペラデビュー。新国立劇場オープニング公演「建・TAKERU」に出演して以来「天守物語」「沈黙」「リゴレット」「トスカ」「幸せな間違い」「光」「俊寛」「ドン・ジョヴァンニ」と連続して出演。東京二期会公演「ドン・ジョヴァンニ」レボレロ、「フィガロの結婚」タイトル・ロール、「蘭宮」井者、「天国と地獄」ジュビター、「蝶々夫人」シャープレス役で出演。コンサート歌手としてもN響定期公演「天地創造」をはじめ東響、読響、都響、東フィル、シティーフィル、大フィル、札幌など主要オーケストラのソリストを務め、高い評価を得ている。また、NHK「名曲アルバム」「クラシック倶楽部」「FM名曲リサイタル」等放送にも数多く出演。CD「久保和範日本交響楽団」をリリース。二期会会員。尚美学園大学芸術情報学部及び同大学院准教授。香川県観音寺市(旧豊浜町)出身・坂出高等学校卒業。

管弦楽

KJO [かがわジュニア・ニューフィルハーモニック・オーケストラ]

香川県では、平成8年から5年間にわたり、文化庁などとの共催で「かがわコミュニティ・オーケストラ」プロジェクト事業(KCOP)を実施してきた。また、高松交響楽団(TSO)の全面的な支援体制のもと、同交響楽団のコンサートマスターで、高松短期大学音楽科科長の福崎至佐氏が子どもを対象とした「高松ジュニア・フィルハーモニック・オーケストラ(TJO)」を主宰し、山本西純氏が常任指揮者として、平成9年から13年まで毎年定期演奏会を実施してきた。それらの成果を継承・発展させ、ジュニア・オーケストラの演奏技術の一層の向上を図り、時代を担う青少年の豊かな心の醸成と本県の音楽文化の振興に資するため、平成13年3月に策定された「香川県文化振興ビジョン」に基づき、平成13年度に「かがわジュニア・ニューフィルハーモニック・オーケストラ(KJO)」として設立された。音楽監督に福崎至佐氏を迎え、県民ホールを拠点として活動を続けている。オーケストラ活動を行う「合奏コース」と、楽器別のレッスンを行う「基礎コース」を併設している。

香川県と台湾との青少年音楽交流事業

国立武陵高級中学 管弦楽団

高級中学は日本の高等学校にあたり、国立武陵高級中学は音楽科を設置している。音楽科の1、2、3年生の3クラス計90名が、管弦楽団を組織し、オーストラリアやアメリカでの演奏経験もある。香川県では台湾との青少年交流を図るため、香川県文化芸術振興計画に基づき、1年交替でKJO団員の台湾派遣と武陵高級中学生徒の招聘を実施しており、音楽交流を通じて青少年同士の相互理解と友好を促進しているところである。これまで平成19年には、KJO団員11名が台湾を訪問し、武陵高級中学のホールで「レディアの理髮師」序曲などを合同演奏した。平成20年には、武陵高級中学管弦楽団団員15名を香川県に招聘し、KJO定期演奏会にて共演した。平成21年には、KJO団員14名が台湾を訪問し、武陵高級中学のホールにて、結婚行進曲や交響曲第8番(ベートーヴェン)を合同演奏した。平成22年の2月には、武陵高級中学管弦楽団生徒32名を、文化庁主催事業として香川県に招聘した。KJO公開レッスン&発表会にて交響曲第9番第1楽章(ベートーヴェン)を合同演奏し、また武陵高級中学のステージでは室内楽やピアノ連弾などの楽曲演奏を披露した。

合唱

香川第九合唱団

1987年香川県芸術祭主催公演「5000人の第九」演奏会)を機に結成。以来、香川県芸術祭芸術フェスティバルの開幕公演として、「フェスティバル第九」演奏会)を開催。2002年より合唱団主催で公演を続けている。「みんなで造ろう!!香川の第九」を合い言葉に、合唱団全員がチラシ作り、広告集め、広報宣伝などを分担し、自分たちの手でステージを作り上げている。この他、「5000人の第九」(国技館)、「陽門第九」や「お龜可第九」など県内外の演奏会に参加、「全日本「第九を歌う会」連合会」理事として会の発展に貢献し、全国の仲間たちとの交流親睦を重んじている。また、「感動の第九」チャリティコンサート)の幹事団体として、N.Y.カーネギーホールなどで第九公演を成功させ、14回目の今年はストックホルム市のノーベル賞授賞式会場で開催し、絶賛される。24回目の「2010「かがわ第九」演奏会」は、11月7日アルファあなぶきホールで開催予定。

高松マスターズコーラス(TMC)

NPO法人アーツカウンシル高松の「TOP人材育成事業」(TOP:高松オペラシティブロジェクト)の一環として、オペラの合唱曲を主なレパートリーとする合唱団として2005年6月に結成された。オペラの重要な要素であり、美しい旋律とハーモニーを持つ曲目が多いオペラ合唱に注目し、演奏者それぞれの声を十分に発揮することによって生まれるオペラ合唱の魅力表現する技術を身につけることを目標に活動している。香川県民ホール開館20周年記念オペラ「蝶々夫人」公演(2008年)、サンポートホール高松開館5周年記念「カルミナ・ブラーナ」公演(2009年)への出演など、香川県を中心に幅広い活動を行っている。